



保育所 —平成21年12月8日—

島牧村議会広報 第130号 平成22年1月

かりば

主
な
内
容

第4回村議会定例会

行政報告	2-4
審議した議案	4-5
一般質問	6-8

決算審査特別委員会

第5回村議会臨時会	10-11
常任委員会所管事務調査	12-13



平成21年第4回村議会定例会は12月17日に招集され、会期を12月18日までの2日間と決めた後、議長の諸般報告と村長の行政報告があり、1人の議員が村政に対する一般質問を行い、決算認定6件、常任委員会報告2件、議案13件、閉会中の継続調査をそれぞれ原案どおり可決して同日、12月17日閉会しました。

行政報告

藤澤

克村長

千走漁港漁船上架施設 補修工事の入札中止

本事業につきましては、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業として、事業費3,600万円を予算計上し、入札日を12月16日と定め平成22年3月25日までの工期として、指名競争入札の案内を通知しておりますが、指名業者6社全社から去る12月14日、入札辞退の申し出があり、やむなく入札を中止いたしました。

などとのことであります。

私と致しましては、1日でも早く上架施設の整備を行い、利用される漁業者の皆さんに、安全に安心して使用していただくたいと考えておりましたが、このような事態となり、補修工事が遅れます事、お詫び申し上げる次第であります。

なお、このような事態を受け、早々に利用漁業者と今後の工事の進め方について協議をしたところ、利用漁業者から「小女子漁前に上架する必要があることから、漁期前の時期を外して工事を実施してほしい」旨の意見が出されたこともあり、本事業は平成22年度に繰り越し、4月早々に発注し、操業に差し支えのない工期を設定するなどして事業実施をしたいと考えておりますのでご理解を賜りたいと

住宅用火災警報器 設置助成

存じます。

本事業については、村内指定業者から火災警報器を購入設置した世帯に対し、5千円を上限として助成するもので、本年7月に住民周知を図り、11月30日までと期間設定をして実施したところであります。期限までに申請がありましたのは453世帯であり、知的障害者等の施設入所世帯と公営住宅入居世帯の合計200世帯を除いた740世帯を事業対象世帯と致しますと、今回の助成制度の活用率は61.2%となります。

このことから、私としては、まだ助成制度を利用していらっしゃるらない世帯に対しては、個別に利用を促すことも必要と考えますことから、助成期間について来年1月末を目途に延長し、本制度を活用してより安全安心な居住環境を確保していただくよう考えておりますので、ご理解賜りたいと存じます。

福祉灯油助成事業の 実施状況

本年度の福祉灯油助成事業につきましては、既にご承知の事とは存じますが、1世帯当り7,500円を支給することとし、10月5日に事業内容の周知用チラシを全戸に配付したところであります。

11月13日の締切日におけます申請件数は、173件で審査の結果、支給条件に該当いたしました164世帯へ7,500円相当の福祉灯油購入

限定商品券を12月9日、10日の両日においてお届けしたところであります。

なお、支給該当となりました164世帯の内訳といたしましては、障害者世帯14世帯を含みます65歳以上の高齢者世帯が158世帯、障害者世帯1世帯を含みますひとり親世帯が5世帯、障害者世帯1世帯の計164世帯であります。

また、該当とならなかった9世帯につきましては、課税世帯であった世帯が6世帯、生活保護世帯が1世帯、税の滞納世帯が1世帯、施設への入所世帯が1世帯の計9世帯でありましたので併せて報告とさせていただきます。



△福祉灯油購入限定商品券

ふるさと寄付 受入れ状況

ふるさと寄付制度、いわゆる「ふるさと納税」でありますが、平成21年度分につきましては、12月10日現在までの寄付受入れにつきましては、5件で140万円の寄付を受け入れております。

特に、字千走在住、蟻波義弘様からは、12月2日産業の振興に関する事業、特に農業被害防止等の為に捕獲した鳥獣の解体処理施設整備のため100万円の寄付をいただいております。

そのほか、ふるさとへの思いや島牧村の村づくりへの共感を持たれた方々からいただいた貴重なふるさと寄付につきましても、個性豊かな活力溢れるふるさとづくりのため活用させていただきたいと存じます。

宮内、第一栄浜地区 携帯電話鉄塔工事

今年度、エヌ・ティ・ティ・ドコモ北海道が工事を予定しておりますが、宮内地区及び

第一栄浜地区の携帯電話の鉄塔工事につきましては、今年8月から設置場所等の調査を行ってまいりましたが、この

たび工事業者が決定し工事に着手する旨、連絡がございました。

施工スケジュールといたしましては、明年2月に工事が行われ、3月中には利用が可能になるとのことです。これら2地区の不感地帯が解消することにより、人家のある地区で不感地帯となるのは、ちはせ川温泉周辺のみとなりますが、今後におきましても、懸案となっておりまます不感地帯の解消に向けて、引き続き関係機関に強く働きかけて参る所存であります事、申し添え報告いたします。

風力発電事業計画 風況調査

本村の植原地区、いわゆる月越峠山頂付近は既に風力発電施設が整備されるなど、風況に恵まれ風力発電に適した地域であります。去る12月3日、東京に本社を置く日本風力開発株式会社から同地区において、風況調査を実施し

たい旨の申し出がございました。

同社につきましては、全国各地において、風力発電に係る開発事業、建設事業及び発電事業を実施している事業者であります。

風況調査につきましては、道々美川黒松内線と村道植原第1号通線の交点付近に、高さ50mほどの観測塔を設置し地表高30m・40m・50m地点の風向・風速等を観測することとあります。

なお、既存施設を保有する、はまなす風力発電株式会社並びに丸紅株式会社につきましては、先にご報告のとおり本年12月末をもって電源開発株式会社にて経営移譲されることになっておりますが、今後、同地区での新規の風力発電事業計画等が他社から本村に持ち込まれた場合、村としては積極的に誘致する考えである旨、丸紅株式会社に対しご説明し了解を得ているところであり、同社より移譲先に対しても了承事項として、引き続き行われることになっております。月越峠植原地区につきましては、風力発電のための立地条件が整っていることから、



△観測塔の設置作業

更に良い観測結果が得られ、
風力発電施設の新設に弾みが
つくことを期待して止まない
ところでもあります。

審議した議案

決 算 認 定

▼平成20年度一般会計歳入歳
出決算の認定

▼平成20年度国民健康保険事
業特別会計歳入歳出決算の
認定

▼平成20年度簡易水道事業特
別会計歳入歳出決算の認定

▼平成20年度老人保健特別会

計歳入歳出決算の認定

▼平成20年度介護保険事業特
別会計歳入歳出決算の認定

▼平成20年度後期高齢者医療
特別会計歳入歳出決算の認
定

以上6件の決算の認定につ
いて、決算審査特別委員会中
田仁史委員長より審査結果の
報告があり、委員長報告に対
する審議の結果、いずれも認
定することに決定しました。

報

告

▼委員会調査報告

(総務社会常任委員会)

平成21年9月30日第4回臨
時議会で調査の付託を受けた
所管事務調査について、後藤
諭委員長より調査の結果が報
告されました。

1. 小、中学校の運営につ
いて

学校は児童・生徒が一日の
大半を過ごす教育の場であり、
同時に避難施設または地域の
住民に開放されている施設で
もある。より良い学校教育・
社会教育等の施設となるよう
より一層整備を図りたい。
近年の社会情勢に鑑み、道

徳教育として「命を大切にす
る教育」の充実に努められた
い。

全国学力学習状況調査の結
果を踏まえ、教育委員会とし
て学力向上に積極的に取組ま
れたい。

2. 避難場所施設の現状につ
いて

平成5年に経験した地震・
津波災害は悲惨で痛ましい経
験として私たちの心に深く刻
まれています。予測出来ない
自然災害に備え、避難場所施
設を定期的に点検し、災害時
に有効な施設となるよう維持
管理に努められたい。

3. 公共施設の実態について

村営住宅の維持補修につ
いては、現状を把握し計画的に
対応していると理解するが、
老朽化し、施設・設備とも時
代に合わない団地も見受けら
れる。村は住宅に対する住民
意向調査を実施し、ニーズ、
生活スタイルに合った公営住
宅の整備計画を作成し、住民
福祉の向上を図られたい。

▼委員会調査報告

(産業建設常任委員会)

平成21年9月30日第4回臨
時議会で調査の付託を受けた
所管事務調査について、濱野
勝男委員長より調査の結果が

報告されました。

1. 賀老の滝遊歩道等の調査
について

賀老の滝は村観光の拠点で
あり、遊歩道整備工事の実施
においては観光客の動向を見
極め、発注時期、工期等を検
討し観光客の滝見学に配慮さ
れたい。また、見学者の事故
を防止するため、手摺の安定
性確保、階段の蹴上げ高さ等
を検討されたい。

2. 漁協・商工会の運営状況
について

漁業について、磯焼け対策
事業と生活排水の処理を総合
的に行い、海の環境回復を図
り、増養殖事業により漁業資
源を豊かにし、漁家所得向上・
後継者育成に繋がるよう漁業
者を支援されたい。

国内経済が低迷し、公共事
業の削減が加速されていく中、
建設業を含めた村内商工業者
は大変厳しい経営状態にある、
活気溢れる地域社会を目指し
更なる商工振興策を積極的に
推進されたい。

3. 農業の現状について

村は農業政策を実行するに
当たり、農業及び農業者の現
状を把握し、農業情勢及び消
費者のニーズに適ったビジョ

ンを策定し対応されたい。また、村内農業者の高齢化が顕著であり、農作業の軽減及び増産を図る必要から用水路等の農業基盤を整備されたい。

近年の田舎暮らしに憧れる

定年退職者等、農業希望者を誘致し、新たな農地利用を図られたい。

4. 道の駅の現況調査について

道の駅裏の空地を、公園緑地、レジャースポーツ施設などで有効活用し、道の駅を中心としたエリアを集客力のある観光拠点として整備を図られたい。

5. 縫製工場の現状について

縫製会社に対する施設及び設備機械の貸付において、貸付機械の中には相当年数を経過している機械もあるので内容を精査し、貸付け内容等の見直しを検討されたい。

条例廃止

▼うしお通信施設の設置及び

管理に関する条例の廃止

うしお通信施設の撤去が完了したため条例を廃止する。

◎全員賛成で原案可決

条例改正

▼医師の給与及び旅費支給に

関する条例の一部改正

夜間・休日診療手当月額30万円を50万円に、医事研究手当月額30万円を45万円に改定し、所長手当月額25万円を新たに設ける。

◎全員賛成で原案可決

▼公営住宅条例の一部改正

暴力団員の入居規制を追加する。

◎全員賛成で原案可決

▼岩内・寿都地方消防組合規約の変更

組合経費の支弁方法のうち救急業務費について変更する。

◎全員賛成で原案可決

契約議決

▼物品購入契約の締結

光ネットワーク予備備品等の購入。

契約金額

17,419,500円

契約の相手方

(株)NTT東日本・北海道

◎全員賛成で原案可決

補正予算

▼平成21年度一般会計補正予算(第6号)

全国瞬時警報システム設備整備事業、村囃子医手当の追加他

1,236万4千円追加

◎賛成多数で原案可決

▼平成21年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

後志広域連合分賦金の減額他

364万1千円減額

◎全員賛成で原案可決

▼平成21年度簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)

人件費の減額、元町地区配水管布設替工事の追加他

384万3千円追加

◎全員賛成で原案可決

▼平成21年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

人事院勧告に伴う人件費の減額

3万5千円減額

◎全員賛成で原案可決

▼平成21年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

広域連合納付金減額

295万8千円減額
◎全員賛成で原案可決

その他議案

▼北海道後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団

体の数の減少

上湧別町と湧別町の合併に

伴い、構成市町村の減少について協議するため議会議決を求める。

◎全員賛成で原案可決

▼北海道市町村備荒資金組合を組織する市町村の数の増減

上湧別町と湧別町の合併に伴い、構成市町村の減少について協議するため議会議決を求める。

◎全員賛成で原案可決

▼後志広域圏振興協議会の廃止に関する協議

協議会の廃止について協議するため議会の議決を求める。

◎全員賛成で原案可決

▼閉会中の継続調査

(議会運営委員会)

議会運営に関する事項等について、閉会中の継続調査とする。



気軽に 議会を傍聴してみませんか。

- ◇定例会は、年4回開かれます。(3月・6月・9月・12月)
- ◇臨時会は、必要に応じて開かれます。

お問い合わせは、議会事務局まで(電話75-6211)

一般質問

第4回村議会定例会での
一般質問の内容と理事者側
の回答をご紹介します。
今回の質問者は1名で、
その全文を掲載しました。

長尾 文裕 議員

- ◇高齢者、一人暮らし対策
- ◇島牧村ホームページの活用

高齢者、一人暮らし対策



長尾 文裕 議員

島牧村で生活している高齢者、一人暮らしの方々の中で、自分ではなかなか大変な例えば煙筒の取付けや掃除、又はカーテンの取替え等々の作業を何等かの形で支援する対策を講ずるべきと考えますが、村長のお考えをお伺い致します。

藤澤村長

高齢者、一人暮らし対策についてでございますが、高齢者、一人暮らし世帯で、自分では大変な作業、ご質問者は具体例といたしまして、「煙突の取付けや清掃、カーテンの取替え作業などを支援する対策を講ずべき」というご質問でございますが、私といたしましては、このような輕易

な作業につきましては、島牧

村高齢者事業団や島牧村地域活動支援センターを有効に活用していただくのが利用者にとっても頼み易く、また、高齢者事業団や地域活動支援センターで働かれている方にとってもメリットがあるのでないかと考えるところでございます。

なお、高齢者のみならず

住民の皆さんの中でも、高齢者事業団や地域活動支援センターの存在、或いはまた、どのような作業を行っているのかわからない方が多いのではないかと認識いたしており、今後、村広報誌等を活用し高齢者事業団、地域活動支援センターの作業内容等を周知して参りたいと考えておりますのでご理解賜りたいと存じます。

長尾議員

今、高齢者事業団、地域活動支援センターですか、それらの周知徹底を図るということとでありますけれども、できれば利用される方々の便を考えると、具体的に個別作業の単価、これをきちんと示して欲しいと。

実際問題、隣近所に人はいるのですけれども、なかなか頼みづらいという状況の方も中にはおられますので、例えば高齢者事業団、地域活動支援センター、これらの方々にお願いするにしても、電球の取替え、1個いくらですとか、具体的な単価、明細的なものを載せていただいて周知を図っていただきたいと思い

ますが、そのへんもう少しお答え下さい。

藤澤村長

具体的な単価等の周知を図りながら、利用者の利用しやすい体制、また、そのことに伴ってトラブル回避と言いますか、様々な側面を有しているのかなと思います。

ご質問者の意とするところは、そのようなことかなと思うところでございますが、高齢者事業団の場合、ある程度作業内容によつての基準的なものを定めてはおります。基準的なものの一例で申し上げますと、例えば、一般作業の種類の中に煙突掃除1回、単価としては2,000円というような、これは1回2,000円というような形がございます。

他の一般作業でも様々な分類がございます、例えば冬囲いとか、そういうような作業については、時間当たり900円というような表現もございます。

いずれにいたしましても、全ての作業項目に対して完全明示しているわけではございません。内部的に相談を受け

た時の基準として設けているものかと思ひます。

可能な限り、求められる事業に基づく単価を明示するよう、事業団のほうにも働きかけながら、また、それが全てを網羅するというのもなかなか難しさもあるかと思ひますので、逆に1つの基準を基に、事業団に発注される方と事業団との間で事前にそのへんの取り次ぎがきちんとなされた上で、実施されるような体制と言ひますか、システムを作つていくべく、事業団とも協議させていただきながら周知のほうを図つていきたいと思ひますので、よろしくご理解願ひます。

長尾議員

できるだけ皆さんが分かりやすい状態で周知されますことを望んで、次の質問に移らせていただきます。

島牧村ホームページの活用



長尾 文裕 議員

村ではホームページを開設していますが、この中に村史追補版のみならず村史本編を追加し、更に利用を深めるべきと考えますが、村側のお考えをお伺い致します。

藤澤村長

村ホームページに村史追補版のみならず村史本編も掲載してはどうかとのご質問でございますが、現在掲載されております村史年表追補版を作成発行した際にも、編さん委

員の皆様から、「現在の情報

化社会において、村ホームページに掲載することにより、多くの方々に活用していただくことが期待できる。」という話し合いがなされ、ホームページに掲載した経緯がございました。

村史本編につきましても、村ホームページに掲載されることによつて、村史の一部分を資料として必要とされる方、或いは村史自体を資料として今後も残しておきたいと思う方など、それぞれの利用目的に合わせて広く活用されるところにも、本村に興味・関心を持つていただき、島牧村を知り・理解していただくことに繋がるのではないかと改めて認識するところでございます。

私といたしまして、村ホームページへの掲載により、村史としての価値がより一層高まるのではないかと考えるところでございます。

島牧村史は、本村の歴史を知る上で重要な文献であり、広く利活用されてこそ、本来の目的が達成されますことから、村ホームページへ掲載することとして今後取り進めて参りますので、ご理解賜りた

いと存じます。

なお、掲載方法やホームページへの掲載時期につきましては、既存の村史約1,200ページ、そのぐらいのボリュームがございます。これらを全て電子ファイル化する必要がありますことから、電子ファイル化に向けての方法等につきましての検討と、作業に要します時間がかかります。私からの答弁とさせていただきます。

長尾議員

来年度の予算にそのくらいのが予算化されるのかなという期待もします。

ただ私、ホームページを実際開いてみたわけですけども、最初は村史追補版にあたるまで、教えていただくまで分かりませんでした。

要するにトップ記事というのか、トップニュースというのか、それで「村史追補版年表追加いたしました。」という、その記事からでないといつていけない。これは使い勝手が全く宜しくないなどです。新に島牧村史なるものの項目をクリックす



△島牧村のホームページ

ると、簡単に入っていけるような、そういう構成にぜひしていただきたいと思っていますけれども、そのへんお伺いいたします。

藤澤村長

ホームページ自体の構成と言いますか、作り自体の問題かと思っています。

今、一例として追補版のことがございましたが、私も確かにその通りだなと思います。

そのことのみならず他の項目等につきましても、サイドマップ等からでは入っていない内容掲載物というのが多々ござい

ます。また、何処をどう探していけばいいのかと

いう、ホームページの最初のトップページ部分から入っていく部分につきましても、非常に分かりづらい部分もあるのかなという思いがいたします。

最近のホームページはそういった意味では、洗練された自治体のホームページも多々見受けられます。逆に、データが多すぎて重いホームページも増えているという現状もござい

せて行きたいというふうに思いますので、ご理解の程お願いしたいと思います。

長尾議員

要望的なことになりますけれども、本年、我が村で進めた地デジを含めた事業が全国

から注目されている中で、やはり注目されているうちに、もつと我が村は先に進んだ分を利用して、更なる活用をしているのですよということを、ぜひ示していただくような展開をお願いして、私の質問は

決算審査

特別委員会

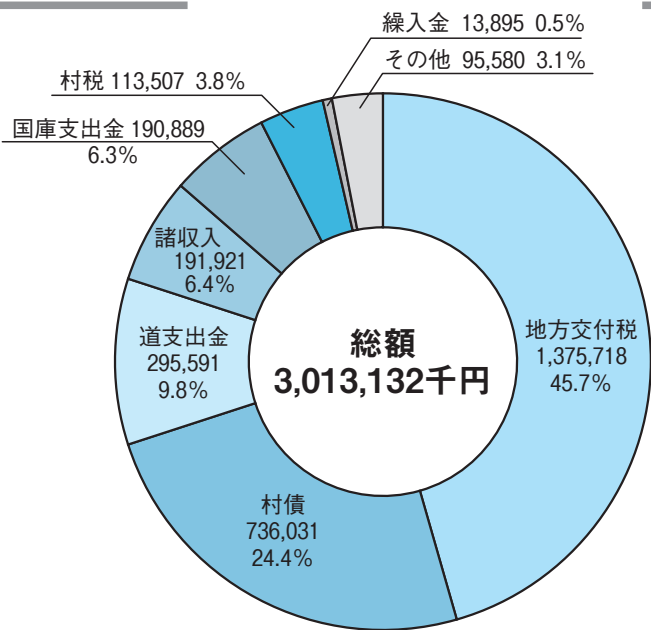
平成20年度の各会計決算は、9月30日開会の第4回村議会臨時会において、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、これに審査を付託、閉会中の継続調査（後日調査）になりました。

12月7日に再開した決算審査特別委員会では、各会計とも原案のとおり認定すべきものとして決定し、審査結果は第4回村議会定例会において、中田委員長から報告しました。

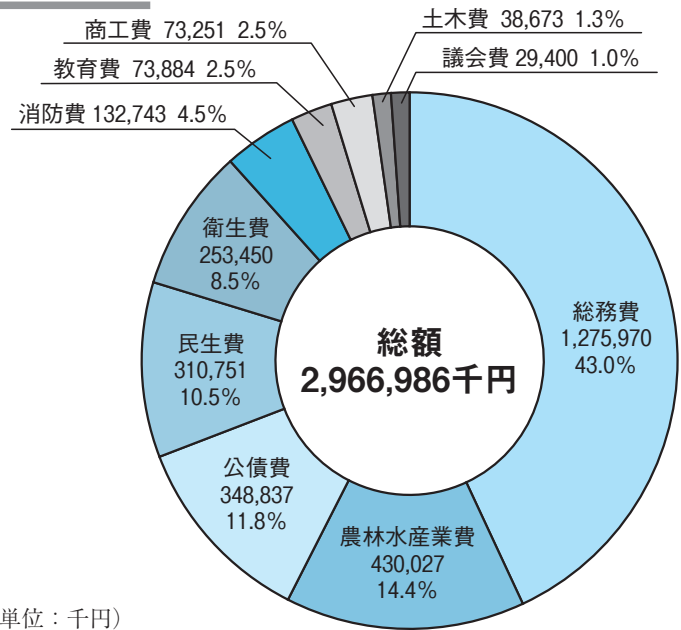
決算審査は、単に法令や条例、規則等に対する適合関係、計数的正誤にとどまらず、予算審議段階で明らかにされたところと実際の執行結果はどうか、また、歳入欠陥・不用額の原因は何かなど幅広い検討を行い、将来の財政運営に反映させる視点から審査しています。

平成 20 年度 一般会計決算

歳 入



歳 出



(単位：千円)

(単位：千円)

会 計 名		平成 20 年度 決 算 額	平成 19 年度 決 算 額	増 減	対 前 年 度 伸 長 率	備 考
一 般 会 計	歳入	3,013,132	2,011,598	1,001,534	49.8%	主に地域情報通信基盤整備事業により増加
	歳出	2,966,986	1,987,824	979,162	49.3%	
特 別 会 計	国民健康保険事業	歳入 334,547	312,462	22,085	7.1%	老人保健会計については、平成20年度からスタートした後期高齢者医療制度への移行により大幅に減少。また、後期高齢者医療の事務は北海道後期高齢者医療広域連合が行なっている。
	簡易水道事業	歳入 57,779	58,347	△ 568	△ 1.0%	
		歳出 57,779	58,347	△ 568	△ 1.0%	
	老人保健	歳入 42,795	358,157	△ 315,362	△ 88.1%	
		歳出 44,258	354,922	△ 310,664	△ 87.5%	
	介護保険事業	歳入 247,621	237,749	9,872	4.2%	
		歳出 234,171	222,437	11,734	5.3%	
	後期高齢者医療	歳入 18,410		18,410		
		歳出 18,410		18,410		
	計	歳入 701,152	966,715	△ 265,563	△ 27.5%	
		歳出 687,208	944,797	△ 257,589	△ 27.3%	
合 計	歳入	3,714,284	2,978,313	735,971	24.7%	差引合計60,090千円のうち33,174千円（一般会計）は翌年度へ繰越。
	歳出	3,654,194	2,932,621	721,573	24.6%	
	差引	60,090	45,692	14,398	31.5%	

平成21年第5回臨時会は、11月30日招集され、村長の行政報告のあと、新型インフルエンザ予防接種の独自助成費などの一般会計補正予算案と、人事院勧告に基づく一般職員の給与や期末・勤勉手当を減額する条例改正案を原案通り可決し、同日閉会しました。



村議会

第5回

臨時会

行政報告

藤澤

克 村長

■島牧診療所医師の内定

今年7月から、脇本所長と北海道地域医療振興財団からの代診医師により診療を行ってきているところですが、この間、村では村ホームページ、北海道地域医療振興財団のホームページ及び北海道医報に医師求人掲載し2人目の医師確保に努めて参りました。その結果、9月中に3名の医師が、村診療所等の施設を視察に来られましたが、札幌からの距離の問題、本人希望が短期間での勤務を希望、ご家族の問題等で当村での勤務については、ご承諾をいただくまでには至っておりませんでした。

11月に入りましてから、現在海外邦人医療基金からの派遣でジャカルタで勤務されております医師から問い合わせがあり、11月25日に本村を視察されております。年齢は58歳で消化器内科専門の医師で自宅は札幌にあり11月24日に一時帰国をされた折りに視



△診療所

察されております。現在の勤務契約が12月23日で切れることから、1月以降の勤務先を探しているとのことでありました。

視察後、医師から島牧診療所で1月10日くらいから勤務が可能であり、当診療所の勤務形態が2人の医師で3日、4日を交代で行う形が自分の性格に合っているとのことと勤務をご承諾いただいたところであります。

■新型インフルエンザ 予防接種助成

新型インフルエンザの予防接種については、10月下旬に医療従事者への接種が始まり、その後、11月25日から基礎疾患を有する方（最優先）への

早急に協定書を取り交わしかかる費用については12月定例会で補正したいと考えておりますこと、ご報告させていただきます。

接種が、島牧診療所においても開始されたところであります。

このあとも国・道のスケジュールに基づき12月上旬には幼児、また12月中旬以降には、小学生並びに優先接種者に対しまして、順次接種が始まって参りますが、接種費用については国が一律に料金設定しており、2回接種の方では6,150円、1回接種の方で3,600円となっております。

国・道では生活保護世帯・市町村民税非課税世帯については補助を行うこととしておりますが、村といたしましては、独自に接種費用について助成措置を取ることといたしました。

助成内容につきましては、生活保護世帯・村民税非課税世帯の方につきましては、国・道の補助もあることから全額補助、中学生以下の幼児・児童につきましては全額補助、高校生以上の課税世帯の方につきましては、1回の接種について1,500円の助成をすることとし、かかる費用につきましては本臨時会での補正予算に計上しております。

ご理解賜りたいと存じます。

■村づくり懇談会

村民皆様との「協働の支え合い」による村づくりのひとつといたしまして、一昨年より実施しております「村づくり懇談会」につきまして、本年度は、10月29日から11月26日にかけて9地区で開催いたしました。

懇談会では、地方交付税や臨時交付金などをもとに財政問題等についてご説明した後、昨年「地域情報通信基盤整備事業」により整備いたしました設備の活用状況などについて質疑を終えた後、住民の皆様から各般に亘つての貴重なご意見やご提案を賜って参りました。

このたびの懇談会には延べ52名の住民参加をいただきましたが、今後も積極的に行政情報を提供し、村民皆様からのご意見ご提案をいただけるよう引き続き開催して参りたいと存じます。

■島牧ウィンドファーム

先に開催されました村議会第2回定例会におきましてご報告申し上げましたが、島牧



△折損したブレードの交換を終え、運転を再開した3号機

ウィンドファームにつきましては、2月14日事故発生以降、施設の稼働を停止していましたが、ブレードを折損した3号機を除きます5台について点検を完了し6月11日から順次運転を再開しております。また、交換用ブレードの到着を持っておりました3号機につきましても、去る11月16日にブレードの交換を終え、発電を開始しております。

本年2月に開催されました第1回臨時会において、ご報告申し上げました電源開発株式会社への経営権の譲渡についてであります。はまなす風力発電株式会社より、「ブ

レードの折損事故により譲渡交渉が中断していましたが、このたび全ての発電施設が点検修理を終え、正常稼働したことを受け、本年12月25日を目途に譲渡事務を完了させる予定である」旨の報告を受けております。

平成12年4月供用開始以来、10年もの長きにわたり、各般にわたり本村の振興に貢献していただいた丸紅株式会社並びにはまなす風力発電株式会社の皆様には厚く感謝申し上げます。

審議した議案

条例改正

▼島牧村職員の給与に関する条例等の一部改正

人事院の公務員給与改定勧告に基づく法律の一部改正に伴い、本条例の一部を改正。一般職員の期末・勤勉手当を0.35ヶ月分、給料を平均0.2%それぞれ引下げ、住居手当(所有後5年間、月額2,500円)を廃止他。

◎全員賛成で原案可決

補正予算

▼平成21年度一般会計補正予算(第5号)

新型インフルエンザワクチン接種助成費、千走漁港漁船上架施設補修工事費について補正。

1,344万5千円追加

◎賛成多数で原案可決

常任委員会 所管事務調査

総務社会

常任委員会

論司彦豊史則
清紀仁伴
藤島川田藤
後佐高瀬中佐
委員長員員
委員委委委
委副委委委

第4回村議会臨時会（9月

30日招集）において、閉会中の継続調査とした総務社会常任委員会所管事務調査は、11月6日、村、教育委員会及び学校から担当者が出席し、現地において説明を受け調査を行ないました。調査した項目と結果概要は次のとおりです。
なお、調査結果は12月17日招集の定例村議会において後藤委員長が報告しました。

■避難場所施設の現状

予測出来ない自然災害に備え、避難場所を定期的に点検し維持管理する必要があると確認しました。

■小学校・中学校の運営

近年の社会情勢を鑑み「命を大切にする教育」を充実させること。また、全国学力学習状況調査の結果を踏まえ、学力向上に積極的に取り組むことの必要性を確認しました。



△小学校

▽中学校



■公共施設の実態

村営住宅について調査したところ、老朽化し時代に合わない施設・設備の団地がありました。住民の意向を調査し、ニーズ、生活スタイルに合った村営住宅の整備計画が必要と判断しました。



△村営住宅（泊団地）

男彦司 豊史裕
勝紀清 仁文裕
野島藤川 田尾
濱高佐瀬 中長
委員長 員員
委員 員員
副委員長 委員

産業建設 常任委員会

第4回村議会臨時会（9月30日招集）において、閉会中の継続調査とした産業建設常任委員会所管事務調査は、10月27日、村及び関係する産業団体から担当者が出席し、現地において説明を受け調査を行ないました。調査した項目と結果概要は次のとおりです。
なお、調査結果は12月17日招集の定例村議会において濱野委員長が報告しました。

■賀老の滝遊歩道

遊歩道の整備について、今年度は観光客の通行を禁止し施工していましたが、来年度は観光客に配慮し、賀老の滝を見学できるよう工事の発注時期、工事期間等を検討する必要性を確認しました。

■漁協・商工会の運営

漁業協同組合からは磯焼けの状況や藻場造成事業の成果、漁業資源が減少傾向にあること等について説明を受け、商工会では商工業者の厳しい経営状況、村内経済の活

性化策の提案・要望を聞かせていただきました。

村は積極的な漁業及び商工振興策を検討し、推進する必要性を確認しました。

■農業の現状

農業と農業者の現状を把握し、将来を見据えた計画が必要と思われた。また、農業者の高齢化に伴う作業の軽減、そして増産を図る必要から用水路等の基盤整備が必要と判断しました。

■道の駅の現況

道の駅裏の空地を、公園緑地、レジャースポーツ施設などで有効活用し、道の駅を中心としたエリアを集客力のある観光拠点として整備を図るべきと判断しました。



△漁業協同組合



△商工会

■縫製工場の現状

村が縫製会社へ貸付している施設・設備の中には相当に年数が経過している機械類があり、内容を精査すべきと判断しました。



△縫製工場



議会 日誌

自 平成21年10月
至 平成21年12月

[10月]

- 4日 中学校学校祭
- 13日 後志町村議会議長会臨時総会 (倶知安町 佐藤議長)
- 14日 厚岸町議会総務常任委員会行政視察受入れ (佐藤議長・長尾副議長)
- 15日 例月出納検査
- 17日 保育所発表会
- 18日 小学校学芸会
- 22日 鶴居村議会行政視察受入れ (長尾副議長・後藤委員長)
- 27日 産業建設常任委員会所管事務調査

[11月]

- 2日 岩内・寿都地方消防組合議会 (岩内町 高島議員)
- 3日 功労者表彰式 (役場 佐藤議長)
- 6日 総務社会常任委員会所管事務調査
- 7日 黒松内新道開通式 (黒松内町 佐藤議長)
- 10日 後志町村議会議長会臨時総会 (東京都 佐藤議長)
- 11日 町村議会議長全国大会 (〃)
- 12日 後志町村議会議長会議長視察研修 (長野県 佐藤議長)
- 13日 参議院議員橋本聖子セミナー (札幌市 佐藤議長)
- 20日 例月出納検査
- 26日 後志広域連合議会 (倶知安町 佐藤議長)
- 28日 自民党北海道政経セミナー (札幌市 佐藤議長)
- 30日 第5回村議会臨時会、全員協議会

[12月]

- 3日 中川義雄参議院議員来訪 (役場 長尾副議長)
- 7日 決算審査特別委員会、全員協議会
- 9日 南部後志衛生施設組合臨時議会 (寿都町 長尾副議長)
- 10日 議会運営委員会
- 14日 例月出納検査
- 17日 第4回村議会定例会
- 28日 南部後志衛生施設組合議会 (寿都町 長尾副議長)
- 南部後志環境衛生組合議会 (黒松内町 後藤委員長)

伊藤真一氏に特別表彰

(全国町村議会議長会創立60周年記念特別表彰)

地域社会の発展及び住民福祉の向上に尽くされた功績により、昨年11月11日全国町村議会議長会野村 弘 会長から特別表彰が授与されました。

伊藤真一前議員は昭和48年9月、島牧村議会議員選挙に初当選、以来9期36年間に亘り精力的に議員活動し、平成15年からは2期6年間、副議長として議会運営に精励しました。



編集後記

■議会広報「かりば130号」をお届けします。
本号では、昨年12月17日に開催された村議会第4回定例会の審議内容、一般質問を中心に編集しました。

ぜひご覧になって、村の方針や議会活動にご理解を深めていただきたいと思います。

■「秋田名物八森ハタハタ、男鹿で男鹿ブリコ、能代春慶、桧山納豆、大館曲げわっぱ」と秋田音頭に謡われているハタハタが、昨年に引き続き今年も島牧の一部沿岸に来遊しました。

北海道新聞社から出版されている「新 北のさかなたち」を読むと、北海道日本海側では天売島沖に分布し、10月上旬から南下を始め、11月中旬ごろから産卵場に一気に来遊するそうです。沿岸の藻場に産卵し、雌は夜から早朝に、ほぼ全数を一度に直径4cm前後の卵塊として産み、海水に触れると数十秒で固まるということです。

昨年、島牧でもハタハタの増殖事業が試験的に行なわれました。漁業者自身が浜に打ち上げられた卵塊を回収、漁港内の陸上水槽と港内に移送し孵化させ、自然放流しました。様々な資源回復を図る取組が行われています。

議会広報 かりば
No.130
平成22年1月25日
発行・島牧村議会
編集・議会広報編集委員会